

心のつどい in いなえいフェスティバル



【稲永学区】

■世帯数：3,699 世帯

■人 口：8,437 人

■面 積：2.396 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・「心のつどい in いなえいフェスティバル」を稲永小学校体育館にて年に 1 回開催。参加者数は約 700 人。
- ・港南中学校吹奏楽部による演奏や在校生・卒業生・保護者などをメンバーとするドリームメンバーズによる演舞、稲永小学校音楽部による演奏、新一年生の作品展示、私設楽団「港南吹奏楽団」による演奏、港警察署による街頭犯罪・交通安全についての講話などを行っている。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

平成 24 年度で 10 回目の開催となり、学校の先生、保護者、生徒、児童の連携・絆が深まり、地域（学区）の文化的イベントの一つとして、住民が開催を楽しみにしている。

2 きっかけ、背景

稲永学区青少年健全育成協議会の「冬の青少年を守る運動（期間 12 月 1 日から翌年 1 月 15 日）」の一環として、子どもたちの健やかな成長を願うとともに、保護者の意識高揚、学区住民の親睦、学区連絡協議会のより一層の隆盛、融和を願い開催している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

PTA、中学校のOB、青少年健全育成委員 延べ約 150 人

(2) 他団体との協力

小中学校PTA、学校開放委員会、港南中学校OB、港南吹奏楽団・ドリームメンバー、港南中学校吹奏楽部、稲永小学校音楽部、港警察署

(3) 運営協力

新聞専売所（広報活動、イベントチラシ作成）、小・中の児童・生徒が参加協力する事で世帯間を超え、その連携が常に後継者育成につながっている。

4 実施のスケジュール

毎年 5月 1年間の役割（計画）立案

9月 イベントの内容について打合せ

11月 最終打合せ

12月 開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

参加者の増加、住民意識の高まり、交流の深まり。PTA・先生と保護者の交流が多くなり、一体感が生まれてきた。

(2) 苦労した点

発足当時は活動資金がなかった。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続と担い手の世代交代が課題。ボランティア精神で活動してくれる自営業者が不景気で少なくなった。

(4) メッセージ・アドバイス

学区は見守り隊であって、出場者のコミュニティをよく見聞き自由にコラボさせる事で、一層一体感が生まれる。
（共汗・共学）

